

子どもが本にふれあう機会を増やそう



こども室

市立図書館は、0歳から利用することができ、絵本などさまざまな本を無料で借りることができます。



詳しくはこちら

鶴岡市立図書館本館 ☎25-2525

開館時間／9:30～19:00、9:30～18:00(12～2月)、9:30～17:00(土日祝日) 休館日／月曜(月曜祝日は翌火曜)、年末年始、特別整理期間



おはなし会をしています

- ◆館内おはなし会
- ◆春・夏・冬のおはなし会



絵本コーナー

おすすめの絵本には、マークがついています。

どこの分館でも本を借りることができます。おはなし会もしています。詳しくはお問い合わせください。

藤島分館

[東田川文化記念館内]

☎64-2537(代)

羽黒分館

[羽黒庁舎内]

☎62-2111(代)

榊引分館

[榊引情報センター内]

☎57-5681

朝日分館

[朝日中央コミュニティセンターすまいる内]

☎53-2111(代)

温海分館

[温海ふれあいセンター内]

☎43-4411(代)

子どもと一緒に遊びに行ける施設にも本があります



親子で利用できる、自由来館型施設(無料)です。ふれあい遊びや読み聞かせ、育児相談も行っています。

鶴岡市子ども家庭支援センター ☎25-2741 [にこ・ふる内]

藤島子育て支援センター
☎64-2163 [藤島児童館内]

羽黒子育て支援センター
☎62-2154
「にこにこ広場」[貴船保育園内]

朝日子育て支援センター
☎58-1504
「こいこいルーム」[朝日保育園内]

子育て広場「まんまルーム」
☎24-5635 [マリカ東館内]

児童館

遊びや本のコーナーがあります。読み聞かせのほか、さまざまなイベントを開催しています。詳しくはこちら



中央児童館 ☎24-4608

西部児童館 ☎29-0031

南部児童館 ☎64-1900

陽光児童館 ☎64-8640

大山児童館 ☎38-0260

藤島児童館 ☎64-2163

KIDS DOME SORAI ☎26-8801

0歳から小学6年生までを対象とした、全天候型児童施設(有料)。ライブラリスぺースもあります。



詳しくはこちら

致道ライブラリー ☎29-0810

夏休みには、自由研究の参考になる「図鑑コーナー」企画展を開催しています。



発行／鶴岡市

鶴岡市立図書館 TEL:0235(25)2525 E-mail:library@city.tsuruoka.yamagata.jp

絵/つちだよしはる



子どもの成長に合わせた読書のすすめ

本といっしょ

読書のおもしろさ、大切さを知り、自ら本に親しむ子ども

第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画 令和2年～6年度

読書は、学びであり、楽しみであり、知的好奇心を満たすものです。子ども時代に、宝物となるような本との出会いがあること、読書を通して心豊かで健やかに成長できることを願い、この計画をつくりました。子どもから大人まで多くの方がこの計画に関わり、読書活動を推進していくことを目指したものです。



計画について
詳しい情報はこちら

鶴岡市

子どもの成長に合わせた読書のすすめ

計画の対象/0歳からおむね18歳まで ~読書活動の推進については、大人を含むすべての市民を対象としています~

子どもと一緒に、おはなしを楽しみましょう!

子どもと一緒に、絵本や本を読んでおはなしを楽しむことは、子どもとのふれあいの時間のひとつであり、子育ての楽しさを感じるひとときではないでしょうか。
また、子どもがおはなしにふれることで、想像力や言葉を育てるよい機会にもなります。



子どもと一緒に絵本を楽しむ ~ふれあいながら読む~

音やリズムを楽しもう ~わらべ歌や手遊びもおすすめ~

深く考えるための読書 ~探究のために~

空想の世界を楽しむ ~想像力を刺激し、より自分の世界を広げていく~

子ども時代の充実した読書体験が、生涯にわたる読書活動へつながっていきます。

生まれる前から

おなかの中の赤ちゃんには、いろいろな音が聞こえています。今から語りかけ、絵本も読んであげてください。

「赤ちゃんと楽しみたい絵本リスト」(市立図書館)

0・1・2歳児向けおすすめ絵本。図書館で、欲しい方に差し上げています。

0・1・2歳児

本との暮らしの始まる大切な時期です。読書を通して、子どもと心の交流ができる時間を持ちましょう。

「児童室おたよりシャワー」(市立図書館)

おすすめの本や「てあそび・わらべうた」など親子で楽しめる情報がいっぱい。



詳しくはこちら

3・4・5歳児

読書が好きになるための大切な時期です。子どもが好きな絵本を十分に楽しめるよう、大人がしっかり関わっていきましょう。

小学生

読書を楽しみ、様々な分野の本と出会い、自主的に読書ができるようになる時期です。それができるようになるまで、本とふれあう機会をつくるなど、大人が十分に支援していくことが大切です。

中学生

心身ともに急激に成長し、生活環境も激変します。また、様々な要因から読書離れをする時期でもあります。

大人からの働きかけも大切ですが、友だちや同年代との読書に関する情報交換が有効です。市立図書館には、若い世代におすすめの本コーナーがあります。

高校生

嗜好も一段と多様になり、将来の目標などを決める準備時期です。読書の成熟期に入ります。

大人になっても

読書は、学びであり、楽しみであり、知的好奇心を満たすものです。大人も読書を楽しみながら、未来を担う子どもたちと関わり、ともに推進していきましょう。

計画の3つの柱

子どもの近くに
本がある
暮らし

子どもの近くに
本の
渡し手がある
暮らし

子どもの近くに
読書活動を見守る人がいる
暮らし

こんなときはどうする?

Q.字が読めるようになったら、自分で読ませるほうがよいのでしょうか。

A. 字が読めることとおはなしを楽しめることは違います。また、子どもとのコミュニケーションのひとつとしても大切な時間となります。子どもが望むあいだは読んであげましょう。

Q.読み聞かせが苦手で。上手に読んであげられません。

A. 上手に読むことよりも、子どもの近くにいる大人が読んであげることが大切です。子どもが一番安心しておはなしを楽しめるからです。

Q.同じ本ばかり読みたがります。このままでよいのでしょうか。

A. 心配いりません。子どもが満足いくまで読んであげてください。今、その子にとって必要な本ともいえます。お気に入りの本ができることは素晴らしいことです。

Q.どんな本を読んだらいいですか。

A. 昔話や物語、科学絵本など様々なジャンルの本を読んでみましょう。地域の図書館や書店、保育園・幼稚園、学校、児童館、子育て支援施設のほかに、飲食店や病院など、街中にある本とふれあえる場を活用しましょう。